# 3　相談・対応

学内外からの様々な相談に応じることで，ニーズや課題を発掘するとともに，大学の資源（知識，技術，マンパワーなど）とのマッチングを図っています。主な相談者・相談内容は以下の通りです。

## 主な相談者/内容

県民局や市役所，大学（本学の他学部や他大学），公益財団法人，　NPO法人，地域づくり組織，営農組合，土地改良区，市民（団体/個人）などからの相談がありました。

具体的な内容としては，施設の有効利用，子ども食堂に関するボランティア，地域イベントのサポート，研究協力者の紹介，フィールドの紹介，地域づくり組織の立ち上げや効率的運用，セミナーやイベントの周知，新規就農促進に向けた仕組みづくり，農村へのボランティア，資源活用に向けた仕組みづくりなどがあります。

対応としては，アドバイスやアイデアの提供にはじまり，人材の紹介やフィールドへの訪問，プロジェクトの始動などをおこないました。

フィールド訪問の様子@市川町

## 相談対応の事例

子どもの居場所づくり事業や子ども食堂の運営サポートなどを通して，ボランティア受け入れのプラットフォームづくりをおこなう「明石こども財団」から，ボランティア募集協力の相談をうけました。そこで，ボランティア活動や子どもに関連した活動を希望する学生とボランティアの受け入れ先をつなぐ学生団体「conneko-コネコ-」とともに，対応しました。具体的には，学生団体と役割分担をおこない，説明会を実施しました。

下写真：説明会の様子
右図　：学生団体が作成した説明会勧誘ポスター